

2023.
6. 23
1:00 —
3:30 PM

(開場 12:30)

立教大学

池袋キャンパス

豊島区西池袋3丁目34-1

太刀川記念館3F
カンファレンスル
ーム

&
オンライン

(URL を後日連絡)

緊急シンポジウム: ChatGPT の衝撃

人間は知的創作活動を続けることができるか —生成 AI をめぐる法と政策—

2023 年 6 月 23 日 1:00-3:30 立教大学 (池袋キャンパス) & オンライン

報告

「ジャーナリズムは持続できるか」

川上修 (読売新聞グループ本社社長室幹事)

「AI による模倣被害: クリエイターからの報告」

森崎めぐみ (一般社団法人日本芸能従事者協会代表理事)

「生成 AI と欧州の政策動向」

角田龍哉 (弁護士・西村あさひ法律事務所)

「知的財産法・著作権法と生成 AI」

前田健 (神戸大学大学院法学研究科教授)

コメント (五十音順)

・佐藤大和 (弁護士・レイ法律事務所、

日本エンターテインナーライツ協会共同代表理事)

・菅俊治 (弁護士・東京法律事務所、

日本労働弁護団常任幹事・日弁連労働法制委員会事務局長)

・古川直裕 (弁護士、株式会社 ABEJA、AI 法研究会代表)

・山本龍彦 (慶應義塾大学大学院法務研究科教授、憲法)

・和久井理子 (京都大学大学院法学研究科教授、経済法/司会)

質疑等 ◎主として対面会場からのご発言をお受けします。

生成 AI。便利なデジタルツールですが、課題も指摘されていて、そのひとつが、生成 AI の過程で利用される人間の知的創作物・記事に係る対価還元とそれを生み出すクリエイターらの活動の持続可能性の問題です。生成 AI の開発・商用化を主導するのは巨大 IT 企業。経済・市場に与える影響も注目されます。デジタル分野・知的創作にかかわる法律・政策には、今、どのような対応が求められているのでしょうか。世界各国で、立法・規制に向けた議論が始まりました。本緊急シンポジウムでは、識者を招きて、様々な角度から問題を析出して議論します。

参加登録 <https://forms.office.com/r/ikGPP3Jwm5> 6 月 20 日締切

※対面参加は定員に達したら申込を締め切ります。ご了承ください。

登録用 QR コード



主催: Academic Society for Competition Law
Asian Chapter

共催: 立教大学法学部、
神戸大学プラットフォーム科研(研究代表:池田
千鶴)